

フロムワンとお取引頂きましたユーザーさまにお届けするニュースレター

# 『1から』通信

発行部数 500部 平成31年春号（55号）  
平成最後の発行です！

## 発刊者(有)フロムワン

川口市戸塚1-4-29-1F  
TEL 048-291-2240  
FAX 048-291-2242



代表 山本 達也

## 取り扱い業務

FAX/複合機/複合機

リサイクル等リサイクル品

業務用IP電話システム

電話工事/LAN工事

インターネット環境のコンサルティング

少しずつ暖かさを増す中、新元号も決まりました新しい季節がやってきました。フロムワン山本です。

学生さん、新社会人の方々はもちろん、この春、新しい出会いと生活をスタートされた皆さんも多いことでしょう。

うちの長女も厳しい受験を乗り越え、晴れて憧れのセーラー服に、袖を通すことができました。

満開の桜の下、入学式にも出席し、・・・あのチビが女子高生かあ。と、さすがに私も、感慨深い想いになってしまいました。

そしてその日の夜、娘がまじめな顔で私の前にやってきました。

「入学式ありがとう。今日のうちに言っておこうと思って。えっ？おう、どうした急にあらたまって」

「私、今日から高校生になることができました。おとうさん・・・」

うっ。いいから、いいから、わかってるから、皆まで言うな。（泣いてまうやろ）

「お小遣いは上がるのでしょうか？」

はい？・・・

すでに熱くなって準備していた私の目頭。行き場を失った涙目で「・・・検討しておく。」と返すのが精いっぱいでした。

それでは春号です！

## お役立ち情報

このシリーズでは、プリンタ・FAX・コピー複合機についての情報をお伝えしていますが、前回は

### 【ビジネス機の中古・新品の比較】として

- ① 機能・性能
- ② 耐久性
- ③ 導入コスト
- ④ 維持コスト
- ⑤ 保守・サポート の5項目の内

①機能・性能/②耐久性についてお伝えしました。



【機能・性能】・・・については  
近年はマシンの機能も成熟してしまっており、画期的な新機能などは登場しておらず  
コピー・FAX・プリンタ・スキャナの基本機能は、中古も新品もほぼ変わりありません。

【耐久性】・・・については  
もちろん新品のマシンの方が安心して使っていただけます。  
複合機の中古市場においては、マシン状態の積極的な情報開示がされておらず  
同じメーカー機種で、見かけは全く一緒であっても  
これまでどんな使われ方で、どれくらいの使用量だったのか、きちんとメンテ  
されていたのか？で全くコンディションが変わってきますのでご注意ください。

といった内容でした。

それでは今回、残りの③導入コスト／④維持コスト／⑤保守・サポートについて  
比較してみましょう。

### ③ 導入コストの比較

当然中古マシンの方が、初期費用を安く抑えることができます。  
価格の幅は多少ありますが、カラー複合機であれば7、8万円～25万円が相場となり  
新品マシン実勢価格の半分以上～5分の一程度になります。

注意点として、新品のマシンの場合は搬入費や設置費、古い複合機の引き取りなど  
提示価格に含まれたり、サービスになる可能性もありますが  
中古機の場合は一般的に、しっかりと別途有料となります。  
WEBなどの表示価格で予算を考えていると別途、数万円+a必要になることがありますので  
ご注意ください。



### ④ 維持コストの比較

利用頻度や、メンテナンスを必要とするかで大きく変わってきます。

#### ●新品の場合

新品のマシンは、保守サービスがつきものですので本体価格とは別に定められた保守料が  
かかりますが、保守期間はトナーが無償であったり、使用頻度に応じて料金が一定ですので  
思いがけない出費がなく、経費の管理が容易になります。

#### ●中古の場合（メンテなし）

中古の場合は利用頻度が少なければ、消耗品の負担も少なく済みますし  
いずれ壊れることが前提で、メンテも必要ない場合は維持費もほとんどかかりません。  
しかし、それなりの枚数（月500枚程度以上）が見込まれる場合には  
消耗品トナーの費用もかかりますし、メンテに加入せずマシントラブルがあった場合  
原因によって少なくとも2、3万～場合によっては10万以上の見積もりになることもあります。

#### ●中古の場合（メンテあり）

保守メニューが用意されている中古であれば、多少使用枚数があっても安心感はあるでしょう。  
但し一般的には、新品のマシンより高く設定される場合が多く  
使用頻度が多くなってくると、導入・維持コスト×利用期間合わせると  
新品よりコストがかかってしまっているケースもありますので要注意です。

## ⑤ 保守・サポートの比較

### ●新品の場合

保守・メンテを行うのは、メーカー直接か、メーカーの認定を受けた正規の販売店やサービス会社が行います。

競争による保守料金下落で、以前のようにトラブルが無くても、定期訪問するようなことは無くなりましたが、いざという時のサービスの迅速さや交換部品の調達など最も安心できます。

消耗品であるトナーもオンラインで管理していますので、無くなる前に自動手配されることが一般的になっています。

専用のコールセンターも設けられていますのでより安心です。

### ●中古の場合

基本的にメーカーでサービスは行いません。

販売店か、販売店の委託を受けたサービスマンが行います。

販売店によって大きく差があると思いますが、やはり人員や組織の仕組みから割り切って考えて頂く必要があるでしょう。

注意点としては、保守に加入したことで長く使用できるとは限らない、ことです。

複合機の場合、メーカーの部品供給は8年～9年とされており

もし5年落ちのマシンを安く購入し、保守に加入したとしても3年～4年後には交換に必要な部品が、中古マシンにまで回ってこないことにもなりかねません。

少しでも長く利用される予定であれば、出来るだけ年式の新しいマシンを検討する方がよさそうですね。

以上、これまでよりも各項目少し突っ込んだ内容でお届けしてみました。  
ご参考くださいね。



令和  
元年

「編集後記」

今回もお付き合い合いました。ありがとうございます。

近くの川沿いに咲いた満開の桜です。

今年も見事に咲き誇ってくれました。

これから始まる令和の時代も良い時代でありますように。それでは次号にて。

(有) フロムワン 山本